



地産地消



「地産地消」とは、「地域で生産されたもの（農産物等）を地域で消費する」ことです。いの町には、この地産地消の代表例の直販所がたくさんあります。

毎朝、収穫したての新鮮野菜が届く直販所の紹介をこれからシリーズでお届けします。

水辺の駅あいの里仁淀川 柳瀬直販所

仁淀川流域194号線沿いの「水辺の駅あいの里仁淀川」。その中に柳瀬直販所があります。今の時期は、ホウレンソウ、大根、アラブイモなどが並んでおり、自慢は、仁淀川の鮎の姿煮、揚げまんじゅうや沖縄まんじゅう。日曜日限定販売のサバ寿司は、神祭のごちそうとして地域に伝わる素朴な味です。

営業時間：9時～17時

所在地：柳瀬本村551

定休日：毎月第3水曜日・年末年始

電話番号：897-0097



道の駅 土佐和紙工芸村 JA特産センター（仁淀川館）

同じく、194号線沿いの「道の駅 土佐和紙工芸村」。その中にJA特産センター仁淀川館があります。野菜、芋類、果物、まんじゅうのほかに炭、山野草などがあります。10年間つくり続けている黒糖まんじゅうは、「なつかしい味」と評判です。

営業時間：9時～18時

所在地：鹿敷1226

定休日：年末年始

電話番号：892-1117



農家から一言

- ・なるべく農薬を使わないで栽培しているので、安心して食べてください。
- ・お客さんの意見を聞いて直販所をつくります。要望などがありましたら、気軽に声をかけてください。



第1回 いの町連合婦人会 スポーツ大会

11月20日（日）、第1回いの町連合婦人会スポーツ大会が町立吾北体育館で開催されました。

当日は約60人の方が3チームに分かれて参加し、「ポウルつき」や「糸巻き」などの種目で楽しい一日を過ごしました。